

## 平成 28 年度まちづくり懇談会会議録【河城地区】

日 時 平成 28 年 11 月 1 日（火） 19：00～20:20  
会 場 河城地区センター  
参加者 52 人

※「第 2 次菊川市総合計画について～第 1 次菊川市総合計画の振り返りと今後 9 年間の計画～」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

※会場からのご意見・ご質問

### ●東富田 男性

JR 菊川駅北口の開発は第二次総合計画でどのように位置付けられていますか。

#### ○建設経済部長から回答

駅北開発につきましては、現在、市の方で構想を作っている状況です。この構想がまとまりましたら、皆様のご意見をいただきたいと思っております。また、この件に関しましては、スケジュール的なものも含めた計画が「第二次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲載されております。

### ●男性

現在、市内での菊川茶の一世帯当たりの年間の消費量は 900 g 下回っている状態です。一世帯当たりの年間消費量は 1 kg を目指すなど具体的な数字を挙げ、その数値を達成するためにどのように消費拡大をしていくのかを考えていった方が良いのではないかと思います。

例えば、お茶にもいろいろな種類があります。種類を絞って売り出していくのも一つの手かと思えます。このように、いろいろな方面からお茶の消費が拡大するような施策を考えていただければと思います。

また、世界お茶祭りでインストラクターが呈茶していた菊川深蒸し茶が、私がイメージしていたものとまるっきり違っていました。こういった部分への気配りもお願いしたいです。

#### ○建設経済部長から回答

お茶に関しましては、茶業審議会や茶業協会等で消費拡大に向けて審議を進めています。今、提案がございましたように、市民が年間どのくらいのお茶を飲むかを目標値にすることも一つの方法だと思えますので、検討していきたい

と思います。

市で行っている施策としましては、子どもたちにお茶を飲んでもらうために様々な取り組みを行っています。例えば、給食時にお茶を出すことでご飯を食べる時にはお茶を飲む習慣を身に付けさせたり、市内の小学校5・6年生が出場する小学生陸上競技大会で菊川茶ペットボトルを差し入れたり、T-1グランプリを開催したりしています。私どもは、まず子どもたちにお茶を好きになってもらうような施策が大切であると考えています。

呈茶サービスをする際には美味しいお茶を飲んでいただけるように心掛けていきます。

### ●和田 男性

静岡県の健康寿命は平成25年の時点で男性が72歳で全国3位、女性が76歳で全国2位でした。これはとても素晴らしいことだと思います。

元気で暮らすための三要素が、食事・運動・社会参加です。この社会参加について、菊川市では今年度以降どのように力を入れていただけるのかお聞きしたいです。

#### ○健康福祉部長からの回答

私どもも健康というジャンルは大変注目を集めるものと思っています。菊川市では、介護に頼らない人を増やすための手助けとして、週1回の教室ではありますが「いきいきサロン」を進めています。まずは家から出て、地域の皆さんと会って会話をさせていただくという取り組みです。

また、健康を維持するために食事も大切ですので、口腔ケアについても健康づくり課の方で検診を進めています。検診率も伸びてはいますが、まだまだ低いのが現状です。今後も検診率を伸ばしていけるように努力して参ります。

運動につきましては、コミュニティの中で身近で気軽に関われるスポーツをいろいろな方に手掛けていただくことが大切であると考えております。その1つとして菊川市立総合病院リハビリテーション科の職員が振り付けを考えた「きくがわ体操」を、各地区を周って広めているところです。現在、各地域の健康づくり推進員の皆様の協力もあり100回以上開催しております。今後も時代の変化に対応できるような推進をし、皆様の健康の増進に努めてまいりたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

### ●沢水加 男性

駅前（周辺）の活性化についてどういった展望をお持ちかお聞かせ願いたいです。

#### ○建設経済部長から回答

駅前につきましては、土地区画整理を行い基盤整備は済んでおります。こうした中で、昔の本通り商店街で3つの商店街組合が商店街の活性化を進めているところです。しかし、時代の流れや郊外の大型店舗の進出、後継者不足などの諸条件の中、商売を継続していくことが難しいというのが現状です。私どもも「まちの顔」である駅前を何とか活気ある場所にしていきたいという思いはありますが、実際には商売をしている方との話し合いの中で進めていくことですので中々難しい部分がございます。商店人口の増加につきましては、行政だけでは中々進められない側面があることをご理解いただきたいと思います。

### ●潮海寺上 男性

最近ではJGAP（農林水産省が導入を推奨している、食の安全や環境保全に関係する農作業についての基準）等でも野焼きの禁止をうたっています。だからといって環境センターに草等を持って行ってもルールが厳しく捨てづらいです。野焼きをすることで、布団や洗濯物に臭いが付いてしまい裁判沙汰になる危険性もあります。この状況は農家として大変厳しく思っています。この程度までなら野焼きを許容しても良いというラインを明確に示していただきたいです。

### ○生活環境部長から回答

原則として家庭や野外においての野焼きを禁止されています。ただし、例外がございます。国または地方自治体はその施設の管理を行うため必要な廃棄物の焼却、震災、風水害、火災、凍霜害その他災害の予防・応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却、風俗習慣上又は宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却、農業・林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却、たき火その他の日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なものなどの場合です。例外とは申しましても、やはり煙が出ますと洗濯物に臭いが付いたり、灰がまったりいたしますので、風向き等を考慮し迷惑にならない方法で焼却をしていただければと思います。他の市民から野焼きに対する苦情等の連絡があれば、野焼きは原則禁止のため、野焼きの中止をしていただくように指導を行っております。この件につきましては、菊川市のホームページにも掲載されておりますのでご覧いただければと思います。

### ●沢水加 男性

平成12年頃に比べるとお茶の売り上げが3割近く落ちています。また、後継者が育たない上に耕作放棄地が増えています。併せましてイノシシ等の鳥獣被害も増えており、環境的にも問題です。様々な原因で農家を辞めなければなら

ない人が増えた結果、耕作放棄地が増えてしまっています。ここをならしても農地は農地であり、転用は難しいのが現状です。私といたしましては、農地を手放しても誰かが引き取ってくれるような施策がないもかと頭を悩ませています。何か良い施策はございますか。

○建設経済部長から回答

茶葉の売り上げが低迷しているのには様々な原因がございます。生活習慣の変化によってお茶を飲む人が少なくなってきたことや、ペットボトルの普及によりリーフ茶を飲む機会が少なくなっていること、さらには後継者不足などです。お茶は菊川市の特産物なので何とかしなければならぬという思いから様々な施策を考えています。しかし、まずは、行政、茶商の皆様、農家の皆様がそれぞれの立場での役割を果たしていくことが大切かと思えます。具体的には、行政は菊川茶をPRする、菊川茶を好きな子どもを増やすこと、茶商の皆様は菊川茶を多くの人に高い金額で買っていただくこと、農家の皆様には美味しいお茶を作っていただき茶商の皆様が高く買っていただくことです。

耕作放棄地の問題に関しましては、県や国の施策である中間管理機構等を活用しながら農地集積を図り、共同で茶園を管理するような取り組みを推進していきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

**●沢水加 男性**

生産体制の見直しとして法人化等を進めてきました。私も農家の集約が出来れば、より効率的な生産につながると思います。先輩方が築きあげた功績を引き継いでいけるように、さらに消費を伸ばしていけるように、農家が意欲を持てるような前向きな取り組みをよろしく願いいたします。

○建設経済部長から回答

私どもも若手のお茶の生産者や若手のリーダーの育成は早急に取り組んでいかなければならない問題と認識しております。今後も菊川茶の将来が明るくなるような取り組みを考えていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく願いいたします。

**●沢水加 男性**

私は大工をしておりますが、農家の皆さんと同じように後継者がいません。現在、中学校や高等学校の授業に呼んでいただいておりますが、もっと多くの子どもたちに職人の技術を見てもらい、職人になりたいという人材を増やしていかないと災害時などの対応が追いつかなくなると思います。学校に呼んでいただける機会がありましたら、いつでも行きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

### ○教育文化部長から回答

私どもも若い頃からのキャリア教育はとても重要だと考えております。今、菊川市では県下でも先駆けて「ふるさと志向力を育むキャリア教育」というものを中学生向けに開催しております。従来のキャリア教育ですと、生徒が企業や図書館などを訪れて何日間か仕事を体験するものでしたが、現在、菊川市が進めるキャリア教育では企業や建設会社、農業法人の方に学校に来ていただき、「このような職業がありますよ、菊川市でこういったことができますよ」といったことを熱い気持ちを持ってお話してもらっています。こういったことから菊川市では、子どもたちに様々な職業や菊川市で働くことに目を向けてもらえるような活動をしております。今後、こういったキャリア教育に職人さんを呼べるかどうか検討していきたいと思っております。

(閉会：20：20)